



# 豊多摩高校の先生方へ

中央大学 経済学部経済学科3年  
阿部加奈子

拝啓

みなさま、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

私が、期待と緊張を胸に豊多摩高等学校へ入学したのも5年前のこととなりました。豊多摩高校を志望したのは、初めて豊多摩高校を見たときの一目惚れからでした。正門からまっすぐと続く銀杏並木に、私は心を奪われました。その銀杏並木の下を通い続けた3年間は、私にとってとても実りあるものでした。

「自主自立」を掲げる豊多摩高校では、生徒たちがそれぞれ個性を生かし、自分の目標に向かって努力していました。特に行事が多い豊多摩高校で、日々クラスの皆と団結しながら校内行事に取り組んだ思い出が印象的です。勉学や部活動等、自らのやりたいことに熱中して取り組める環境がそこにはありました。時には失敗もしながら、多くのことを学んだ充実した高校での3年間はあっという間に過ぎていきました。

高校生活での「自主自立」の学びを持ち、私は今の大学生活でやりたいことに全力で取り組んでいます。大学から学び始めたスペイン語でその地の文化に興味を持ち、スペインに留学をしました。慣れないスペイン語でなかなか意思疎通が出来ず戸惑いながらも、人の温かみに触れ、コミュニケーションの大切さを学びました。サークルでは、旅の会というサークルに入り、色々な国へ行き、その国の文化や慣習に直接触れることで、今まで知ることの出来なかった新たな価値観や物の見方を知ることが出来ました。

また、会長としてサークルをまとめる仕事も引き受けました。試行錯誤を繰り返して、会の発展の為に尽力しました。日々の授業では、経済学を学ぶこ



スペイン留学

とにより、様々なものの見方が出来るようになったと共に、奥が深く楽しいものであると感じています。さらに、他学部の講義を履修し、自分の視野を専攻分野から広げてみることも出来ました。

中央大学は「行動する知性。」のもとで、関心のある学問を深められるだけでなく、意欲的に行動しようとする学生にとって、多くの学びの機会があり、とても良い環境が用意されています。私は、この大学の魅力を多くの人に伝えたいと思い、中学生や高校生など大学を訪れてくれた方に大学構内を回りながら、魅力を伝えるキャンパスツアーという仕事をしています。ここでも、説明の仕方や話し方など多くのことを学んでいます。

大学生になってから変わったと感じることや、学んだことは多々あります。それはきっと、高校生活で着実に積み上げてきたものがあったからだと思います。大学生活も4年間と短いですが、私は多くのことを学べるとても良い機会であると思っています。この限られた4年間に、何をするか、もしくは何も行動に起こさないまま終わるかはその人次第です。私は、大学生活で行動することの大切さや、積み重ねる努力を惜しまないことを学びました。これらのことと、そして何より高校時代から学んだ「自主自立」を胸にこれからも積極的に物事に取り組んでいきたいと思っています。豊多摩高校の卒業生ですと自信をもって言えるように日々の生活を送ってまいります。豊多摩高校の更なるご発展をお祈り申し上げます。

敬具



オープンキャンパス